

「パワースポット」…この言葉が世の中に出回るようになって、しばらくが経ちます。パワースポットと噂される神社やお寺では軒並み参拝者が増え、人々の関心の高さもうかがえますが、一つだけ気になることがあります。

それは、神や仏、自然からの力を、もらうことばかりが注目されていて、自分が周囲の人に差し上げるという視点が欠けているように感じるからです。

みなさんは、「成仏」という言葉を聞いたことがありますか？

「亡き人の成仏を願う」というように使われることが多いので、「成仏」は亡くなった後のことだと思われていますが、生きている時から「成仏」の道はあるのです。

「成仏」、つまり“仏”に“成る”とはどういったことでしょうか。

それは、この世の中のどんな悩み事や心配事があっても、正しい自分を見失わずに生きていくことができる、そんな方法や、信念を身につけた人物になることを言います。

その第一歩が、さまざまな仏様へのお参りなのかもしれません。穏やかな眼差しの中に深い慈悲の心を感じる仏様…そんな仏様に手を合わせ、自分自身の心に安らぎを覚えたとしたら…。今度は自分自身が仏様の真似をして、周囲の人々に心の安らぎを与えられるよう、心掛けてみましょう。

実はこれ、言葉で言うのは簡単ですが、実際にやってみると、相手に対する気恥ずかしさや、自分自身のぎこちなさが気になって、ごく自然に仏様の真似をする、ということができない場合がほとんどです。

それでも、スポーツであっても仕事の進め方であっても、失敗や経験を積むことによって、段々と上達するものです。仏様として振る舞うことも、はじめから上手にできるわけではありません。何度でも挑戦して、何度でも失敗して、それでも諦めずに次の挑戦をしていく、そんな精進を続けていくことによって、はじめは真似事であった仏様としての振る舞いが、だんだんと自分自身の振る舞いとして身についてくるでしょう。そしていつの間にか、自然と周囲の人々に心の安らぎを与えたいと思えるようになるのです。

もしあなたが、パワースポットでも、お寺でも、仏様にお参りをして心に安らぎを覚えたら、その安らぎを、周囲の人たちにお裾分けすそわをなさってはいかがでしょうか？

相手への思いやりの気持ちをもって、心に安らぎを与える一言を、「ありがとう」や「ごめんなさい」という一言を、スッと相手に伝えることができれば、あなたはもう「成じょうぶつ仏」、立派な仏様です。

— 終 —